

令和6年度 第2回 八幡浜・大洲構想区域地域医療構想調整会議 議事録
【議題1～3は非公開】

- 1 開催日時 令和7年2月3日(月) 19:30～20:30
- 2 開催場所 八幡浜支局7階 大会議室(八幡浜市北浜1丁目3-37)
※集合・Web方式併用
- 3 参加者 出席委員は別紙 委員名簿のとおり
議長は大久保博忠 喜多医師会 会長

議題(1) 医療圏詳細分析結果に関する協議(非公開)

議題(2) 外来機能報告に関する協議(非公開)

議題(3) 病床機能再編支援事業に関する協議(非公開)

議題(4) 救急医療体制に関するワーキンググループの設置について(公開)
○『救急医療体制に関するワーキンググループ』を設置し、委員を救急告示病院長と各市町の救急担当課長とすることに同意いただいた。説明資料、設置要綱案は別添のとおり。

議題(5) その他
アドバイザーから次の助言があった。

久野地域医療構想アドバイザー

- 県全体を考えても、この地域が大きな課題を抱えているのではないかと感じた。
- 八幡浜、大洲、西予も含めて、大学病院も入って頂いたうえで、全体としてどのような形で、どのようにレベルを上げていくかが課題、そうしないと宇和島圏域、松山圏域が将来負担を支えきれなくなるとは限らない。
- 地域の枠を超えて、市の枠を超えて考えていく必要がある。

上甲地域医療構想アドバイザー

- 3つの地区相互での救急搬送等がどのようになっているのかが分からなかった。3地区でデータを出して検討する必要があると感じた。
- 大洲喜多地区で専門性の事や回復期のことを検討する場が必要ではないかと感じた。

杉山愛媛大学医学部附属病院長

- 西予と野村の再編が予定されていると聞いているが、先日行われた宇和島地区地域医療構想調整会議において地区の救急患者については西予市民病院で診て、八幡浜・大洲構想区域内の救急病院でも診た後に、必要があれば市立宇和島病院に搬送するようといった話がでていた。そういった救急搬送の事を含めて、3地区全体で考える必要があるなと思った。
- 救急・急性期に対応をする病院をある程度の機能を再編して・集約しないと、そこにドクターと看護師さんを集めるといったことをして。それから、松山医療圏に

行った患者さんの後方支援のところ（回復期のところ）に注力するといった再編、強化ということをじっくり考えていく必要があると思う。

○大学病院は広域の患者に対応している。8年後に向けて、病棟を1つ建てて再開発を考えている。愛媛県全体を含めた急性期医療を強化しつつ、松山医療圏の救急医療にもしっかりと対応したい。